

平成 28 年

火災・救急の概況

火 災

24件

大洲市 17件
内子町 7件

救 急

3,221件

大洲市 2,287件
内子町 928件
管轄外 6件



大洲地区広域消防事務組合

【大洲市・内子町】



火災の概況

1 火災概要

平成28年中に組合管内で発生した火災は24件で、建物焼損棟数19棟、建物焼損床面積964平方メートル、り災世帯数12世帯、り災人員18人、死者数2人、負傷者数3人、損害額30,829千円となっている。

前年と比較すると、建物焼損床面積及び損害額、負傷者が増加しており、建物焼損棟数、り災世帯数、り災人員、死者及び30日死者については減少している。

2 出火件数

出火件数は24件で、前年と比べ2件減少しており、1ヶ月あたり2件の割合で火災が発生している。

出火率（人口1万人あたりの出火件数）は3.9であり、全国の出火率3.4（平成27年）と比較し0.5件高くなっている。

(1) 市町別出火件数

2表「市町別火災状況」のとおり、大洲市17件（内訳：大洲12件、長浜3件、肱川2件、河辺0件）、内子町7件（内訳：内子4件、五十崎1件、小田2件）となっている。

(2) 火災種別

「4表 火災種別出火件数の構成割合」のとおり、その他の火災が11件（全火災の45.8%）で最も多く、次いで建物火災が8件（33.4%）、車両火災が5件（20.8%）の順になっている。

なお、建物火災8件を用途別に見ると、「10表 建物火災の火元用途別の出火状況」のとおり、住宅火災（併用住宅を含む）が6件で建物火災の75.0%を占めている。

(3) 四季別出火件数

「5表 四季別出火状況」のとおり、夏季における火災が9件と多く、春季6件、冬季5件、秋季4件の順となっている。

3 損害額

「1表 火災の概況」のとおり、総損害額は30,829千円で、前年より9,529千円増加している。

このうち、建物火災による損害は、89.2%にあたる27,489千円であり、これは、前年の20,984千円と比較すると、6,505千円増加している。

また、1件あたりの損害額は、「7表 出火件数及び損害額の推移」のとおり、1,285千円であり、前年の819千円と比較すると466千円減少している。

4 出火原因

「8表 出火原因別件数及び損害額」のとおり、総出火件数24件のうち、原因が判明したものでは、「その他」を除き、「たき火」及び「こんろ」による出火が2件で最も多く、次いで「ストーブ」「火あそび」「落雷」「かまど」「排気管」「ライター」による出火がそれぞれ1件となっており、前年同様「たき火」の原因による出火が最も多くなっている。

5 初期消火対応

火災初期における消火活動と、その効果の有無については、「9表 初期消火の対応状況」のとおりで、総出火件数24件のうち初期消火を試みたものは17件あり、このうち初期消火によって大事に至らなかった火災は8件である。

また、初期消火に効果のあったものは、「水道、浴槽等の水をかけた」が4件、「消火器」「寝具、衣類等をかけた」「水バケツ」がそれぞれ1件となっている。

6 死傷者

死傷者は「11表 死傷者の区分」のとおりで、火災による死者は2人（応急消火義務者2人）、負傷者3人（応急消火義務者3人）、30日死者はなしで、前年に比べ負傷者が1人増加し、死者及び30日死者が各1人減少となっている。

7 まとめ

以上、平成28年中の火災概況であるが、前年と比べて出火件数は2件、建物火災は前年より13件減少しており、り災人員も前年に比べ10人、死者についても1人減少しているものの、出火率は全国出火率を0.5件上回っている。

出火原因は「たき火」及び「こんろ」によるものが2件と最も多く、その要因としては、火の取扱の不注意が原因と考えられる。

このことから、防火対策の取り組みとして、住民に対して火の取扱いについて注意喚起を行い、より一層の火災予防に努める必要がある。

さらに、住宅火災による死傷者の低減や被害の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置、維持管理をより強く呼びかけるとともに、各地域における自主防災組織等の協力を得て、住民等を主体とした防災訓練等を行い、防火意識の更なる高揚を図る必要がある。

1表 火災の概況

区 分	単 位	平成28年	平成27年	増 減
出 火 件 数	件	24	26	▲ 2
建 物	〃	8	21	▲ 13
林 野	〃	0	1	▲ 1
車 両	〃	5	1	4
船 舶	〃	0	0	—
航 空 機	〃	0	0	—
そ の 他	〃	11	3	8
焼 損 棟 数	棟	19	28	▲ 9
全 焼	〃	7	10	▲ 3
半 焼	〃	1	3	▲ 2
部 分 焼	〃	8	5	3
ぼ や	〃	3	10	▲ 7
建物焼損床面積	m ²	964	949	15
建物焼損表面積	m ²	41	17	24
林野焼損面積	a	28	7	21
死 者	人	2	3	▲ 1
負 傷 者	〃	3	3	—
30日死者	〃	0	1	▲ 1
り災世帯数	世帯	12	16	▲ 4
全 損	〃	6	5	1
半 損	〃	0	1	▲ 1
小 損	〃	6	10	▲ 4
り災人員	人	18	38	▲ 20
損 害 額	千円	30,829	21,300	9,529
建 物	〃	27,489	20,984	6,505
林 野	〃	0	78	▲ 78
車 両	〃	623	120	503
船 舶	〃	0	0	—
航 空 機	〃	0	0	—
そ の 他	〃	2,717	118	2,599
爆発損害額	千円	12	0	12
出 火 率	件	3.9	4.1	▲ 0.2

※ ▲～減

※ 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

※ 損害額は、火災種別ごとの損害額を計上している。

2表 市町別火災状況

区分 市町別		火災種別					焼損面積			死傷者			焼損棟数	り災世帯数	損害額（千円）		
		合計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物床面積 (m ²)	建物表面積 (m ²)	林野 (a)	死者	負傷者			30日死者	総額	うち 建物損害
大洲市	大洲	12	4		1		7	694	39	8	2			12	7	19,140	17,236
	長浜	3	2				1	267	1			1		5	3	10,215	10,206
	肱川	2	1				1		1	17		1		1	1	9	9
	河辺																
	小計	17	7		1		9	961	41	25	2	2		18	11	29,364	27,451
内子町	内子	4	1		1		2	3		2		1		1	1	1,238	38
	五十崎	1			1											120	
	小田	2			2					1						107	0
	小計	7	1		4		2	3		3		1		1	1	1,465	38
合計		24	8		5		11	964	41	28	2	3		19	12	30,829	27,489

建物損害額 = 建物損害額 + 収容物損害額

3表 市町別月別出火状況

年別・市町別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
平成 28 年	大洲市	大洲		1	1			3	2	3	1		1		12
		長浜	1			1				1					3
		肱川			1									1	2
		河辺													
	内子町	内子	1		2									1	4
		五十崎												1	1
		小田					1							1	2
合計		2	1	4	1	1	3	2	4	1		3	2	24	

年別・市町別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
平成 27 年	大洲市	大洲	2		1	1	1			1	2	1	1		10
		長浜	1		1	1		1				1			5
		肱川			1	1									2
		河辺											1		1
	内子町	内子		4			1						1		6
		五十崎													
		小田	1							1					2
合計		4	4	3	3	2	1	1	1	2	4	1		26	

4表 火災種別出火件数の構成割合 (%)

区 分	平成28年	平成27年
建 物 火 災	33.4	80.7
林 野 火 災	0.0	3.9
車 両 火 災	20.8	3.9
船 舶 火 災	0.0	0.0
航 空 機 火 災	0.0	0.0
そ の 他 の 火 災	45.8	11.5
合 計	100.0	100.0

5表 四季別出火状況

年 別 月 別	平成28年				平成27年			
	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
春 季 3月～5月	6	25.0	11,509	37.3	8	30.8	5,817	27.3
夏 季 6月～8月	9	37.5	3,126	10.1	3	11.5	5,895	27.7
秋 季 9月～11月	4	16.7	16,127	52.3	7	26.9	5,809	27.3
冬 季 12月～2月	5	20.8	67	0.3	8	30.8	3,779	17.7
合 計	24	100.0	30,829	100.0	26	100.0	21,300	100.0

6表 出火率・出火件数・人口・世帯数調

区 分		実 数		増減率 (%)	
		平成 2 8 年	平成 2 7 年		
大洲地区 広域消防 事務組合	出 火 率	3.9	4.1	-	
	出 火 件 数	24	26	▲7.6	
	うち建物火災	8	21	▲61.9	
	人 口	62,033	63,082	▲1.7	
	世 帯 数	27,367	27,474	▲0.4	
大 洲 市	大 洲	出 火 率	3.6	2.8	-
		出 火 件 数	12	10	20.0
		うち建物火災	4	8	▲50.0
		人 口	34,923	35,321	▲1.1
	世 帯 数	15,525	15,529	▲0.1	
	長 浜	出 火 率	4.3	7.1	-
		出 火 件 数	3	5	▲40.0
		うち建物火災	2	4	▲50.0
		人 口	6,919	7,081	▲2.3
	世 帯 数	3,241	3,262	▲0.6	
	肱 川	出 火 率	9.1	8.5	-
		出 火 件 数	2	2	0.0
		うち建物火災	1	2	▲50.0
		人 口	2,282	2,350	▲2.9
	世 帯 数	985	1,006	▲2.1	
	河 辺	出 火 率	0	1.3	-
		出 火 件 数	0	1	▲100.0
		うち建物火災	0	1	▲100.0
		人 口	748	787	▲5.0
	世 帯 数	405	418	▲3.1	
内 子 町	内 子	出 火 率	4.3	6.2	-
		出 火 件 数	4	6	▲33.3
		うち建物火災	1	4	▲75.0
		人 口	9,498	9,701	▲2.1
	世 帯 数	3,969	3,992	▲0.6	
	五 十 崎	出 火 率	1.9	0	-
		出 火 件 数	1	0	皆増
		うち建物火災	0	0	0.0
		人 口	5,227	5,329	▲1.9
	世 帯 数	2,067	2,070	▲0.1	
	小 田	出 火 率	8.3	8.0	-
		出 火 件 数	2	2	0.0
		うち建物火災	0	2	皆減
		人 口	2,436	2,513	▲3.1
世 帯 数	1,175	1,197	▲1.8		

※ ▲は減

※ 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

※ 増減率については、表示単位未満を四捨五入した。

※ 人口は平成28年12月31日現在の住民基本台帳によるもの。

7表 出火件数及び損害額の推移

区分 年 別	出火件数	損 害 額 (千円)	1件あたりの損害額 (千円)
平成19年	38	67,285	1,771
平成20年	35	123,296	3,523
平成21年	47	47,887	1,019
平成22年	25	27,931	1,117
平成23年	26	24,976	961
平成24年	31	43,479	1,403
平成25年	31	23,913	771
平成26年	27	33,803	1,252
平成27年	26	21,300	819
平成28年	24	30,829	1,285

8表 出火原因別件数及び損害額

区 分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
た き 火	2	8.3	1,100	3.5
た ば こ	0	0.0	0	0.0
こ ん ろ	2	8.3	45	0.1
ス ト ー ブ	1	4.2	1	0.1
火 あ そ び	1	4.2	0	0.0
放 火	0	0.0	0	0.0
落 雷	1	4.2	0	0.0
か ま ど	1	4.2	0	0.0
線 香	0	0.0	0	0.0
排 気 管	1	4.2	300	1.0
ラ イ タ ー	1	4.2	12	0.1
不 明	5	20.7	17,160	55.6
そ の 他	9	37.5	12,211	39.6
合 計	24	100.0	30,829	100.0

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

9表 初期消火の対応状況

効果	消火器具別						合計
	消火器	消火栓	寝具、衣類等 をかけた	水道、浴槽等の水 をかけた	水バケツ	その他	
効果有	1	0	1	4	1	1	8
効果無	1	0	1	3	0	4	9

10表 建物火災の火元用途別の出火状況

用途別 年別	住宅 (併用含む)	作業場 工場	事務所	共同住宅	倉庫 納屋	風呂場	合計
平成28年	6	1	1	0	0	0	8
平成27年	12	1	0	0	7	1	21

11表 死傷者の区分

区分	死者	負傷者	30日死者
消防吏員	0	0	0
消防団員	0	0	0
応急消火義務者	2	3	0
消防協力者	0	0	0
その他の者	0	0	0
合計	2	3	0

次のページから救急の概況



救急の概況

1 救急業務状況

平成28年中における救急業務の実施状況は、出動件数3,221件（前年比33件減）、搬送人員3,044人（前年比64人減）であり、前年と比較して減少している。（1表）

また、組合に配置している救急車6台全てが高規格救急車で、全ての救急事案に救急救命士が同乗し出場している。（2表）

2 事故種別救急概要

事故種別救急件数は、最も多いのが急病で1,904件（59.1%）、次いでその他（主に転院搬送）529件（16.4%）で、以下、一般負傷、交通事故、自損行為、運動競技、労働災害の順となっている。前年と比較すると、増加しているのは、その他（主に転院搬送）45件、運動競技4件、労働災害3件、加害1件、自然災害1件となっており、他の事故種別については、同数または減少となっている。（2・3表）

3 市町別救急業務状況

市町別救急件数は、大洲市が全体の71.0%（2,287件）で、内子町が28.8%（928件）、管轄外が0.2%（6件）となっている。

大洲市の内訳としては大洲1,732件（53.8%）、長浜401件（12.4%）、肱川119件（3.7%）、河辺35件（1.1%）で、内子町の内訳としては内子546件（16.9%）、五十崎228件（7.1%）、小田154件（4.8%）となっている。（4表）

4 時間帯別救急状況

時間帯別の救急件数は、最も多い時間帯が8時から10時の450件、最も少ない時間帯は、2時から4時の82件となっている。（5表）

5 曜日別月別救急状況

月別の救急件数は、1月の300件が最も多く（前年は1月の308件）、最も少ない月は、4月の235件（前年は6月の251件）である。

また、曜日別の救急件数は、木曜日の482件が最も多く（前年は火曜日の497件）、最も少ないのは、土曜日の438件（前年は日曜日の438件）である。（6表）

6 応急処置状況

救急隊員が行った応急処置の状況は、酸素吸入、保温、血圧測定、聴診器による聴診、血中酸素飽和度測定、その他の応急処置（検温等）、心電図等の頻度が高く、除細動は6件実施している。

救急救命士が行う救急救命処置については、ラリングアルマスク等を用いた気道確保を32件、気管挿管を8件、静脈路確保（心肺機能停止後）を26件、薬剤投与を11件実施している。また、平成28年6月1日から開始となった心肺機能停止前の重症傷病者に対する静脈路確保及び輸液は5件、血糖測定は9件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与は0件となっている。（7表）

7 医療機関別搬送人員状況

収容医療機関の状況は、搬送人員の82.9%（2,522人）を管内の医療機関に搬送しており、うち、98.7%（2,488人）は救急告示病院に搬送している。

また、管外医療機関への搬送は、522人であり、その56.5%に当たる295人はその他（主に転院搬送）によるものである。（8表）

8 市町別人口割救急状況

市町別人口割救急状況は、人口1,000人当りの救急発生割合を比較すると、最も発生頻度が高いのは小田の63件、次いで長浜58件、内子57件、肱川52件、大洲50件、河辺47件となっており、最も発生頻度が低いのは五十崎で44件となっている。（9表）

9 高齢者事故種別搬送人員状況

高齢者（「65歳以上の者」をいう。以下同じ）に関する救急状況は、搬送人員2,087人で昨年に比べ35人減少しており、全搬送人員の68.6%を占めている。

また、事故種別で見ると、急病が1,281人（61.4%）と最も多く、次いで一般負傷及びその他（主に転院搬送）345人（16.5%）、交通事故100人（4.8%）の順となっている。（10表）

10 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

高齢者急病の疾病分類は、その他を除くと呼吸系が186人（14.5%）と最も多く、次いで脳疾患149人（11.6%）、心疾患141人（11.0%）、消化系124人（9.7%）の順となっている。（11表）

1表 年別救急業務状況

区分 年 別	出 場 件 数						搬 送 人 員					
	合 計	大 洲 消 防 署 本 署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内 子 消 防 署 本 署	小 田 出 張 所	合 計	大 洲 消 防 署 本 署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内 子 消 防 署 本 署	小 田 出 張 所
平成 2 8 年	3,221	1,694	388	191	759	189	3,044	1,622	357	179	706	180
							2,087	1,052	274	137	481	143
平成 2 7 年	3,254	1,736	383	208	738	189	3,108	1,659	362	193	712	182
							2,122	1,109	275	143	466	129
昨 年 比 増 減	▲ 33	▲ 42	5	▲ 17	21	0	▲ 64	▲ 37	▲ 5	▲ 14	▲ 6	▲ 2
							▲ 35	▲ 57	▲ 1	▲ 6	15	14

※ ▲は減

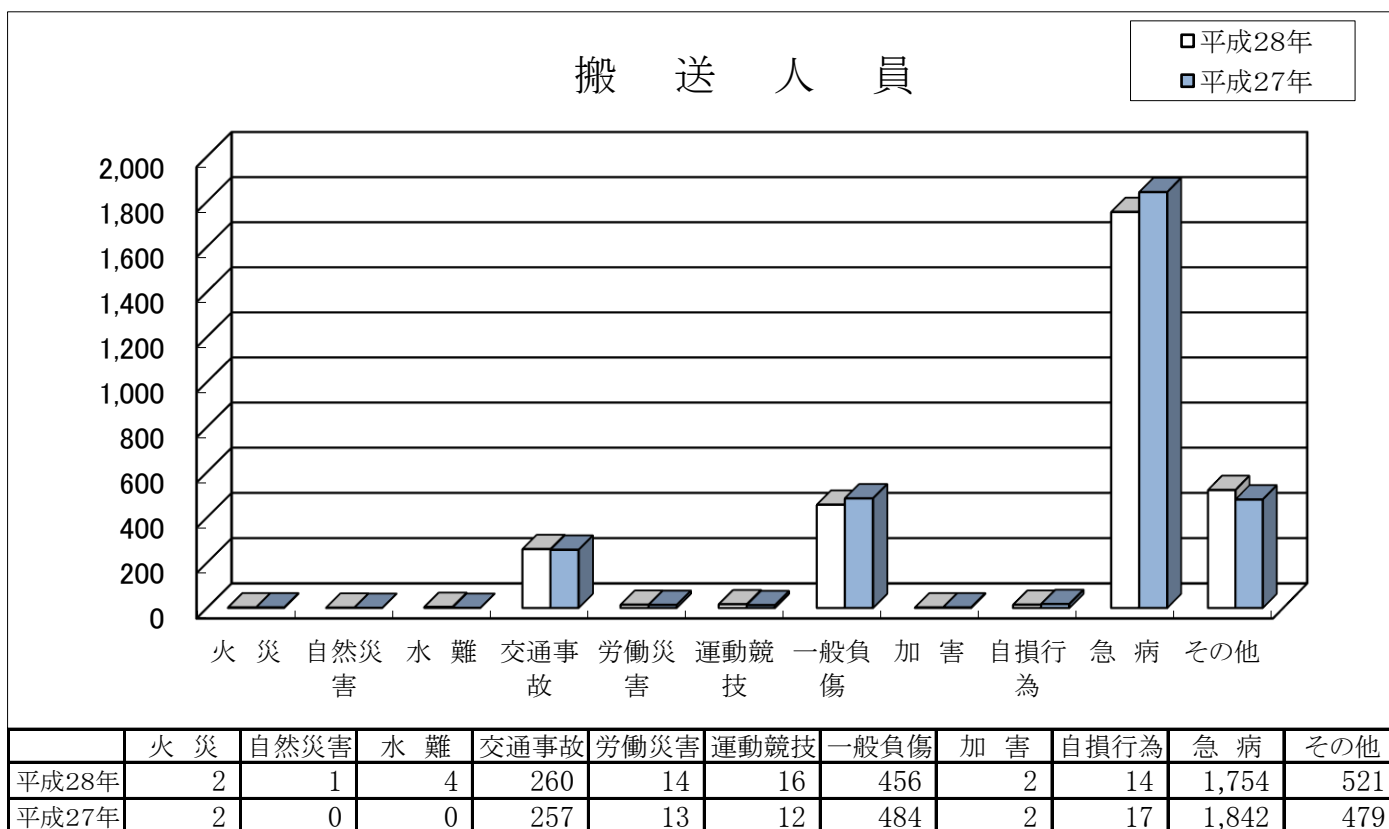
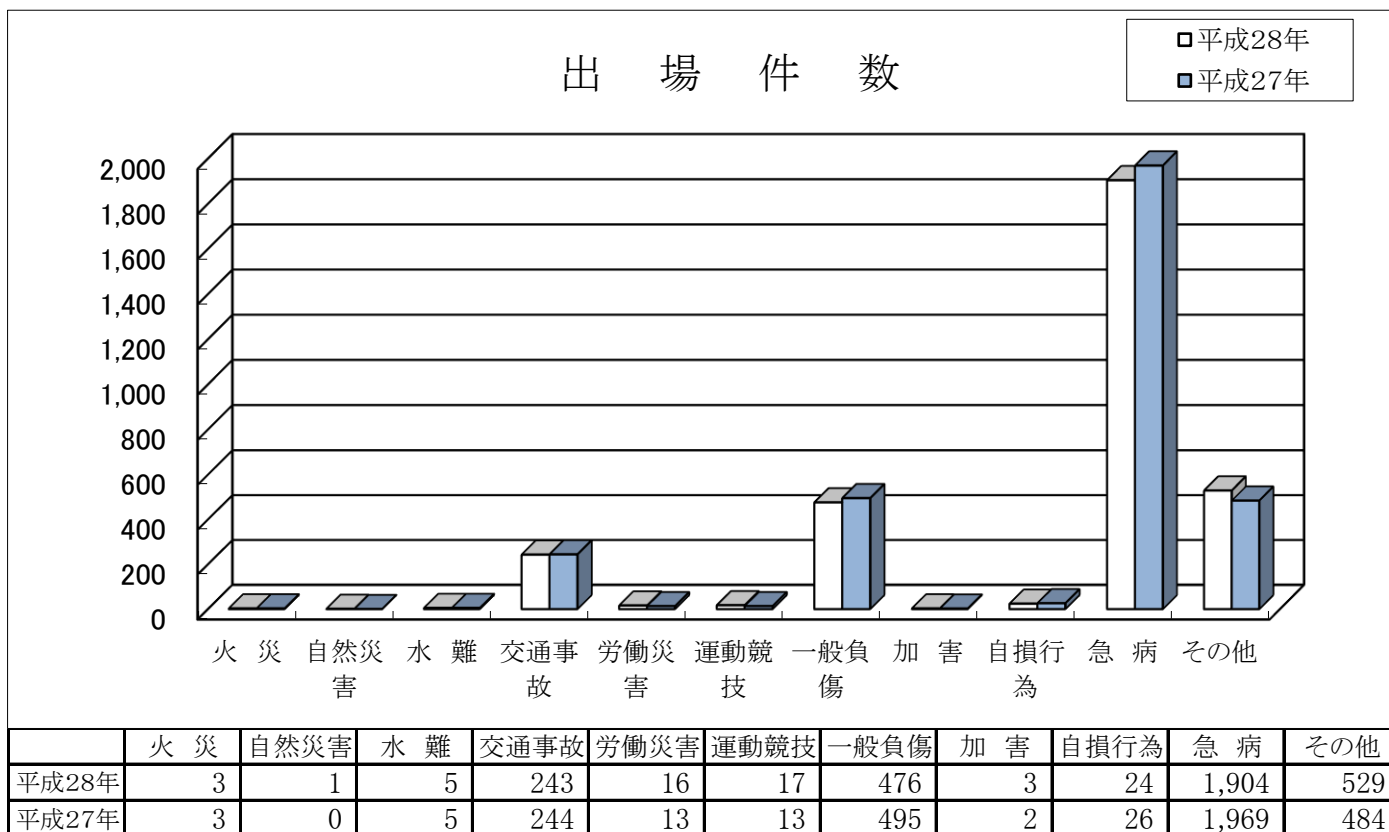
下段の数値は65歳以上

2表 事故種別の救急概要

区分 事故種別	組 合						平成 28 年											
	出場件数			搬送人員			大洲高規格隊1		大洲高規格隊2		長浜高規格隊		川上高規格隊		内子高規格隊		小田高規格隊	
	平成 28 年	平成 27 年	増 減	平成 28 年	平成 27 年	増 減	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員
火 災	3	3	0	2	2	0	1										2	2
自 然 災 害	1			1							1	1						
水 難	5	5	0	4		4	1			4	4							
交 通 事 故	243	244	▲ 1	260	257	3	110	120	26	26	22	24	8	9	64	66	13	15
労 働 災 害	16	13	3	14	13	1	5	5			5	4	1	1	2	2	3	2
運 動 競 技	17	13	4	16	12	4	6	6	1	1	1	1	1	1	5	4	3	3
一 般 負 傷	476	495	▲ 19	456	484	▲ 28	192	186	25	24	70	67	29	28	127	119	33	32
加 害	3	2	1	2	2	0	3	2										
自 損 行 為	24	26	▲ 2	14	17	▲ 3	9	5			2	2	3	2	9	4	1	1
急 病	1,904	1,969	▲ 65	1,754	1,842	▲ 88	804	753	115	104	261	232	125	114	474	434	125	117
そ の 他	529	484	45	521	479	42	184	181	212	209	22	22	24	24	80	79	7	6
合 計	3,221	3,254	▲ 33	3,044	3,108	▲ 64	1,315	1,258	379	364	388	357	191	179	761	708	187	178

※ ▲は減

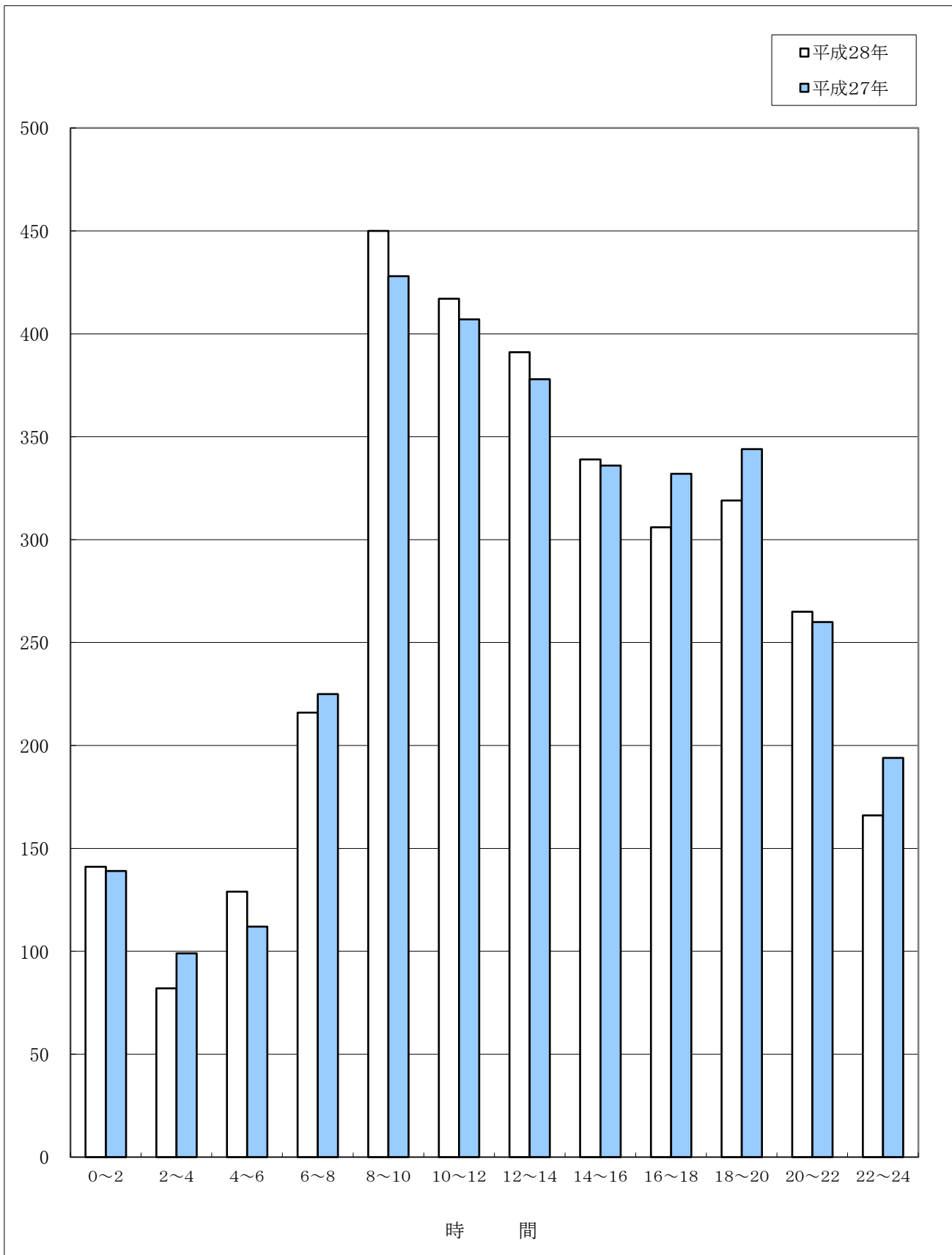
3表 事故種別出場件数・搬送人員



4表 市町別救急業務状況

市 町 事故種別	組 合	大 洲 市				内 子 町			管轄外
		大 洲	長 浜	肱 川	河 辺	内 子	五 十 崎	小 田	
	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数
搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員
急 病	1,904	937	270	87	24	333	147	106	
	1,754	870	240	79	23	306	135	101	
一 般 負 傷	476	216	71	23	5	96	37	28	
	456	208	68	23	4	91	35	27	
交 通 事 故	243	135	26	5		40	23	9	5
	260	144	30	6		41	26	12	1
自 損 行 為	24	11	2	2	1	3	4	1	
	14	5	2	1	1	1	3	1	
労 働 災 害	16	5	5	1		2		3	
	14	5	4	1		2		2	
運 動 競 技	17	8	1			5		3	
	16	8	1			4		3	
加 害	3	3							
	2	2							
火 災	3	1				1		1	
	2					1		1	
水 難	5	1	4						
	4		4						
自 然 災 害	1		1						
	1		1						
そ の 他	529	415	21	1	5	66	17	3	1
	521	410	21	1	5	65	17	2	
合 計	3,221	1,732	401	119	35	546	228	154	6
	3,044	1,652	371	111	33	511	216	149	1

5表 時間帯別救急出場件数



6表 月別曜日別救急出場状況

曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	合計
1月	53	42	40	32	35	55	43	300
2月	33	37	49	43	39	30	37	268
3月	28	31	54	50	52	29	31	275
4月	27	30	36	27	33	41	41	235
5月	45	43	40	32	39	33	31	263
6月	28	28	36	41	44	45	27	249
7月	58	44	38	38	44	38	33	293
8月	39	44	35	43	36	30	40	267
9月	34	33	30	29	42	43	39	250
10月	52	51	27	32	37	29	43	271
11月	34	43	44	44	36	37	23	261
12月	28	55	32	33	45	46	50	289
合計	459	481	461	444	482	456	438	3,221

7表 救急隊員が行った応急処置の状況

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	1,754	259	456	572	3,041
処置項目					
止血	13	19	51	5	88
固定	40	102	152	22	316
人工呼吸	21		3	4	28
心マッサージ	15		3	3	21
うち自動	13		1	1	15
心肺蘇生	47	3	5	5	60
うち自動	12				12
酸素吸入	492	28	39	198	757
気道確保	85	3	9	12	109
うち経鼻	4	2			6
うち異物除去	2		3		5
ラリングアルマスク等	27	1	3	1	32
気管挿管	5	1	1	1	8
保温	1,148	103	252	399	1,902
被覆	7	46	92	11	156
在宅療法継続	6				6
点滴処置					0
外傷処置					0
その他	6				6
ショックパンツ					0
除細動	6				6
静脈路確保(心肺機能停止前)	2	2	1		5
静脈路確保(心肺機能停止後)	20	2	3	1	26
血糖測定	9				9
ブドウ糖投与					0
薬剤投与	9	1	1		11
その他の応急処置	1,092	37	144	198	1,471
血圧測定	1,664	247	442	553	2,906
聴診器による聴取	586	60	93	72	811
血中酸素飽和度測定	1,688	256	449	560	2,953
心電図	655	18	52	160	885
合計	7,605	927	1,791	2,203	12,526

8表 事故種別医療機関別搬送人員状況

告示開設者別		事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		合計	
					うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
救急告示医療機関	国立	3	3					1	1	31	31	35	35
	公立	498	99	87	12	145	26	144	88	874	225		
	公的	16	16	1	1	1	1	58	58	76	76		
	私的病院	1,165	9	162	1	300		228	9	1,855	19		
		私的診療所	3								3		
	計	1,685	127	250	14	447	28	461	186	2,843	355		
その他の医療機関	国立	3	3					14	14	17	17		
	公立	15	15	10	10	6	5	95	95	126	125		
	公的	19	19							19	19		
	私的病院	1	1			1		1		3	1		
		私的診療所	31	4			2	1	3		36	5	
	計	69	42	10	10	9	6	113	109	201	167		
計	国立	6	6					1	1	45	45	52	52
	公立	513	114	97	22	151	31	239	183	1,000	350		
	公的	35	35	1	1	1	1	58	58	95	95		
	私的病院	1,166	10	162	1	301		229	9	1,858	20		
		私的診療所	34	4			2	1	3		39	5	
	計	1,754	169	260	24	456	34	574	295	3,044	522		
その他の場所	接骨院												
	その他												
	計												
合計		1,754	169	260	24	456	34	574	295	3,044	522		

9表 市町別人口割救急出場状況

(人口は12月末現在)

市 町		区 分	人 口 (人)	出 場 件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)	人口1,000人当りの 発生件数(件)
大 洲 市	大	洲	34,923	1,732	1,652	50
	長	浜	6,919	401	371	58
	肱	川	2,282	119	111	52
	河	辺	748	35	33	47
内 子 町	内	子	9,498	546	511	57
	五	十 崎	5,227	228	216	44
	小	田	2,436	154	149	63
組 合 管 内			62,033	3,215	3,043	52
管 轄 外				6	1	
合 計				3,221	3,044	

10表 発生場所別高齢者事故種別搬送人員状況

市 町 区 分		事 故 種 別											合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
大 洲 市	大 洲	0	0	0	54	1	0	159	0	4	593	259	1,070
	長 浜	0	1	3	12	1	0	51	0	0	197	19	284
	肱 川	0	0	0	0	0	0	18	0	1	65	1	85
	河 辺	0	0	0	0	0	0	4	0	0	19	5	28
内 子 町	内 子	1	0	0	15	1	0	63	0	1	224	43	348
	五 十 崎	0	0	0	12	0	0	26	0	0	96	16	150
	小 田	0	0	0	7	1	0	24	0	1	87	2	122
その他(管轄外)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		1	1	3	100	4	0	345	0	7	1,281	345	2,087

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。

11表 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

市 町		疾病分類									合 計
		脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	
大 洲 市	大 洲	66	65	45	97	9	24	34	15	238	593
	長 浜	18	29	25	22	4	7	5	3	84	197
	肱 川	10	6	13	8	0	3	0	1	24	65
	河 辺	3	3	1	2	0	0	0	0	10	19
内 子 町	内 子	29	17	24	33	0	7	1	2	111	224
	五 十 崎	11	10	6	13	2	4	3	1	46	96
	小 田	12	11	10	11	0	6	1	0	36	87
合 計		149	141	124	186	15	51	44	22	549	1,281

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。